

令和6年11月7日 読売新聞備後版掲載記事に関するお詫び

拝啓

平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

この度、令和6年11月7日付の読売新聞・備後版に掲載された弊社「備福運送株式会社」に関する記事について、皆様にお詫びと一部事実と異なる内容が記載されていることをご説明申し上げます。

記事において、弊社がIT導入補助金に関して不正受給を行い、虚偽申請を行った旨が伝えられましたが、弊社としては不正を行おうとした意図は全くなく、IT導入支援事業者の手続き上の不備があったことによる誤りであることを強調させていただきます。弊社との業務委託契約により、IT導入支援事業者がIT導入と補助金を申請したことは事実であり、結果、IT導入支援事業者の誤った手続きにより会計検査院より監査を受け、交付取消となりました。決して不正行為を目的として行ったわけではありませんし、令和6年6月13日に、全ての手続きを済ませ、紙面上掲載されておりました受給した金額全額の返還と補助金交付決定を受けてから返還する日までにかかる追加金についても一括でお支払いを済ませております。また、IT支援事業者についても、その不備と責任を認め、弊社に対し、謝罪とともに一連の弊社の損失について補償いただいております。

弊社は、IT導入補助金を活用するにあたり、制度の趣旨に則り、事業のデジタル化や効率化を進めるために前向きに取り組んでおりました。しかしながら、申請手続きにおいて一部の確認不足や不備が生じ、結果として補助金の不正受給となってしまいました。この点に関しては深く反省しており、速やかに返還手続きを終え、補助金、助成金に対する社内体制の見直しを行い、厳粛な対応を期し、二度とこのようなことを起こさない所存です。

報道においては、一部誤解を招く内容が含まれていたことに対し、弊社としては誠に遺憾に思っており、お客様をはじめ、関係者各位には多大なるご心配とご迷惑をおかけし、心よりお詫び申し上げます。今後、このような事態が再発しないよう、透明性のある運営体制を土台とし、より一層の努力を重ねてまいります。

改めて、今回の記事に関しまして、誤った印象を与える内容が含まれていたことにお詫び申し上げますとともに、今後も備福運送に対し、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

令和6年11月7日

備福運送株式会社

代表取締役 小林政嗣